

# 電力 小売り

# 全面自由化から約2年

## おプラン

割引体系の分かりやすさを打ち出しているのが関西エネルギーパワー(本社大阪)だ。既存マンションの共用部分を対象に関西電力の従量電灯Aに対応したプランだが、専有部契約向けの「基本料の電気代を一律10%安金半額プラン」、低圧くするのが特徴だ。

「マンション専有プラン」でも分かりやすさを意識している。

契約向けの従量電灯Bの電気料金から15%、動力の低圧電力は負荷率に応じて基本料金を最大20%、それぞれ削減できるプランで実績を上げている。

同社によれば、関西では約200棟・2万户で提供している。契約件数は「右肩上がり」で伸びていると手応えを感じている。低圧と高圧の比率は低圧3割、高圧7割。共用部で同社のプランを契約しているマンションを対象に昨年8月から始めた専有部向けの削減プラン「マンション専有プラン」は、使用量に応じて段階的な料金単価を設けている関西電力の従量電灯Aに対応したプランだが、専有部の電気代を一律10%安くするのが特徴だ。

電気を使わなくさん使う専有部ほどメリットが出るプラン

今年3月31日まで実施している初月の電気代が無料になる同プランのキャンペーンに合わせ、臨時総会で共用部のプランの導入を決める管理組合が多いという。

同社は、昨年2月に東京営業所を構えて関東に進出しており、共用部プランはすでに5棟で導入を予定している。次ページにつづく

【第三種郵便物認可】

第1064号

前ページにつづき「2年目に入り、実績が上がっている。今後どんどん提供先が増えていく」。低圧の削減率は関西とほぼ同様。高圧の基本料金は30%以上削減し、近々、関東でも専有部向けのプランを開始する予定だ。

電気幹線の改修工事も取り組んでいる同社は、自由化以降「電気代が下がり、出て来た需要がIH」だとして「工事会社の特色を生かした展開も考えていきたい」という。

## 「負担」

# 高経年マンションに「電気幹線改修」がオススメ

築30年以上経ったマンションの修繕に

電気容量をアップしたい

分電盤に漏電ブレーカーがない

「ガス・IH」の両方に対応し、資産価値向上につなげたい

国土交通省「長期修繕計画ガイドライン」では電気幹線修繕周期30年を目安としています。電気幹線改修は、住皆の皆様のお悩みやご期待に応えるチャンス。関西エネルギーパワーには、様々なケースに対応するノウハウがあります。

# 幹線余力調査無料



関西エネルギーパワー株式会社

06-6267-0107

http://kenep.co.jp/